

1941

軍機

海軍功績綱要部長殿

第三南遣艦隊機密第九號之二

二月二十日送付

菲島部隊戦闘詳報 第四號

第三南遣艦隊戦闘詳報 第四號

第二段第一期作戰

自昭和十七年四月十日
至昭和十七年五月十九日

第三南遣艦隊司令部



8/10

六五四三二一
功戰令經計形

績果達過畫勢

被報
害告
等

目

次

(目次終)

一 形勢

(イ) 四月中旬ニ於ケル菲島方面敵軍ノ情勢

(一) 我艦隊ノ壓迫ヲ受ケ菲島方面殘存敵海上及航空兵力ハ漸次減勢シツアルモ敵潜水艦ハ依然菲島海域ニ出沒ス又敵小艦艇ハバターン半島陥落ヲ境トシ愈其居所ヲ縮少セラレ我が海上封鎖線ヲ突破シ脱出ヲ企圖セルモノアリ敵飛行機ハセブ島攻略直後涼州方面ヨリ一時増援セラレタルモノヲ其ノ行動頓ニ活潑トナリP40型戦闘機ノ出現及大型機ヲ以テ「ババカ」セブ「マニラ」等ヲ爆撃ス

(二) 「バターン」半島ノ敵ハ我が陸軍ノ猛攻ニ依リ四月九日降伏セシ米極東軍司令官「ウエンライト」ハ殘存兵力ヲ以テ「マニラ」灣口要塞ニ立籠リ「ミンダナオ」方面ノ殘敵ト呼應シ抵抗ヲ續ケツツアリ

(ロ) 四月中旬ニ於ケル菲島方面友軍ノ情勢

(一) 四月十日附第一第二(旧第三艦隊ノ大部ヲ以テ新ニ編成)第三南遣艦隊ヲ以テ南西方面艦隊ヲ編成セラレタリ

ニ計畫
イ) 作戰方針

- 一) 菲島東部隊第二攻略部隊ハ陸軍川口支隊(第二驅逐隊) 第一隊及雄護衛ト核力シ四月十日セブ港附近ヲ攻略シセブ島ノ既定作戰ハ順調ニ進捗中ナリ
- 二) 「バタイン」半島ノ敵ニ對シ陸軍ハ三月三十一日ヨリ一部ノ攻撃ヲ四月三日ヨリ總攻撃ヲ開始シ四月九日敵ハ「バタイン」半島ニ関スル限リ降伏ヲ申入レ来リタルモ我カ要求タル菲島ノ全面的降伏ヲ受セズセカリシ為我カ方ハ依然ハ攻撃ヲ續行スルト共ニ「マニラ」灣口要塞ハ攻略準備ヲ著々整ヘツツアリ
- 三) 「パナイ」島攻略陸軍河村支隊ハ第二十四驅逐隊護衛ノ下ニ四月十二日「リンガエン」發十六日「パナイ」島ニ上陸戰果擴大中
- 四) 敵機ノ行動頓ニ活潑トナレルニ對シ菲島部隊ハ第十一航空艦隊菲島派遣隊戰闘機ノ協力ヲ得航空兵力ノ全力ヲ舉ゲ之カ撃滅ニ努力中ナリ
- 五) 「マニラ」方面海軍根據地施設ハ著々進捗シツツアリ

第三十特別根據地隊	二三三	(一) 警戒隊 (二) 第十七號掃海艇 (三) 第十八號掃海艇 (四) 第三十一號潛隊官 第三十號 第三十一號 (五) 第三艦隊官 南浦丸 木曾丸 阿蘇丸 (六) 第五十三驅潛隊 戶興嶺丸 第三京丸
	二三二	八重山
隊名	隊番號	艦船 (隊部隊) 番號
	二三一	口球磨

(一) 「バタイン」半島攻略、機ニ乗ジ海上封鎖ヲ益々強化スルト共ニ速ニ「マニラ」灣口諸島要塞ヲ陥落セシメ「マニラ」灣口ノ水路ヲ啓開ス

(二) 陸軍ト協同シ成ル可ク速ニ菲島南方諸島ヲ戡定ス

(三) 敵潛及敵飛行機ヲ掃蕩シ海上交通及制空權ヲ確保ス

(四) 海軍根據地諸施設ノ整備ヲ促進ス

(五) 艦隊區分

(六) 四月十日現在第三南遣艦隊艦隊區分

附							第三十三特別根據地隊	
屬							二三四	
		七	六	五	四	三	二 三 九 二	
第三十三氣象班 第七氣象班	第三十三病院	第三十三經理部	第三十三工作部	第三十三測量隊	第三十三航空隊	日祓丸	(一) 警備隊 (二) 武昌丸 (三) 慶興丸 (四) 第五驅潛隊 (五) 第三十三航空隊	
第三十三氣象班 第八氣象班	第三十三軍需部	第三十三測量隊	第三十三共同丸	朝山丸	三星丸		(六) 第三十三通信隊 (七) 第三十三航空隊	
第三十三氣象班	第三十三建築部							

部 西 島 菲				封鎖部隊		主 隊		區 分	
西哨戒部隊		第掃隊		第掃隊		直 率		指 揮 官	
31AB2 司令官				栗 310kg		公重山艦長		直 率	
「マニラ」ヤビテ各警備隊		31AB2 水上警備隊 第二測量隊一部		460kg 17W 阿蘇丸		31AB2 陸戰隊		球磨雄護岐丸 315kg	
担任区域ノ警備 氣象通報		「マニラ」湾掃海警備測量		「マニラ」湾「スビック」湾掃海水		「マニラ」湾封鎖		全作戦支援	
内交通保護		「マニラ」湾警戒及担任区域		「マニラ」湾重要地攻陥		敵艦船ノ拿捕撃破		主 要 任 務	

(一) 五月一日 310kgヲ掃ヨリ除ク
 (二) 五月三日 三ノモ丸ヲ掃ヨリ除キ無道山丸ヲ編入
 (三) 兵力部署
 (一) 四月十日現在菲島部隊兵力部署

		第二護衛隊	第一護衛隊	菲島東部隊			隊
補給部隊				第三攻隊部隊	警備隊	東哨戒隊	通信部隊 警備隊
□							
3AF							
		2409 司令	209 司令	32AB9 司令官			
日佐丸	朝山丸 三星丸 (その他若干丸)	2409 (208) 津島村支隊リンカエ (津島支隊)	209 (208) 津島村支隊リンカエ (津島支隊)	5/09 警備隊(武昌丸) 2/09 警備隊(武昌丸) (基地設営隊(会))	1/09 警備隊(武昌丸) 2/09 警備隊(武昌丸) (基地設営隊(会))	1/09 武昌丸(第三哨戒) (3289)	3/09 「サンエツランド」 「カスビ」各隊遺隊第二六 七氣象班
	補給	輸送船隊護衛(セブ島及マニラ島及カ ヤン)攻略	輸送船隊護衛(セブ島及マニラ島及カ ヤン)攻略	セブ港攻略	担任区域内 警備隊 残敵掃討場 氣象通報	担任区域内 警備隊 敵艦船ノ 合手捕撃予破	通信連絡

備考

(一) 四月十三日 山風ヲ封鎖部隊ヨリ除キ第二護衛隊ニ編入
 (二) 四月二十三日 3189ヲ主隊ヨリ除キ菲島西部隊ニ編入
 (三) 四月二十八日 第二護衛隊ヨリ第二十四驅逐隊第一小隊ヲ除キ第十五驅逐隊第一小隊ヲ加ヘ封鎖部隊ニ第十五驅逐隊第二小隊ヲ編入
 (四) 五月一日 第一護衛隊ヨリ第三驅逐隊第一小隊ヲ除キ第八驅逐隊第一

隊部力核	航空部隊	指揮官	$\frac{f60 \times 18}{\text{高雄空}}$ $\frac{f60 \times 9}{\text{台南空}}$	コレヒト、ル西空基ニハタイニ半島 及同附近敵艦艇攻撃 敵航空基地撃滅
附屬部隊		直率	第三十六共同丸 第二測量隊(二部欠) 百三軍需部 百三經理部 百三工作部 百三病院 百三建築部	各担任業務又前命事項

0211

菲島東部隊	菲島西部隊	區分 主隊	(ニ) マニラ 灣 重要塞陥 落シ 五月九日 左 兵力部署 ト ナス 一 小隊ヲ 編入 第二 驅逐隊 第一 小隊ヲ 封鎖部隊ヨリ 除ク
3大F 32AB9 司令官	31AB9 司令官	指揮官 直率	
32AB9 司令部 警備隊 慶興丸	31AB9 司令部 警備隊 八重山 栗 3189 17W 369 3109 18W 53 chg 第二 第六 第七 氣象班 46Wg 31 chg	球磨 雄 讚岐丸 兵力	
三 主要 港灣 防備 二 警備 一 敵掃蕩 作戰 担任 区域内ノ	三 主要 港灣 防備 二 警備 一 敵掃蕩 作戰 担任 区域内ノ 四 海上 交通 保護 五 氣象 通報 担任 区域 八 機密 菲島 部隊 命令 作 第六 號 所 定 ニ シ	主要 任務 全作 戰 支援 担任 区域内ノ	

附屬部隊 補給部隊		第二護衛隊	第一護衛隊	495d
官 長 令 司				
直 率		15dg 司令	8dg 司令	
百三工作部 百三經理部 百三軍需部 第二測量隊 第三十六共同丸 日 祐 丸	三言生丸 朝山丸 (きんぎょ丸 笠置山丸)	15dg	8dg (20g)	武昌丸 第三第八氣象班
各担任業務及所命事項	補 給	一 輸送船隊護衛 二 上陸作戦協力	一 輸送船隊護衛 二 上陸作戦協力	四 海上交通保護 五 氣象通報 担任区域機密菲島部隊 命令作第百六號所定ニ合シ

セブ島攻略作戦支援、為同方面行動中、主隊（遊之）四月九日
 「バネ」半島、敵降伏セルヲ以テ主隊（讚岐丸、雄三）ハ讚岐丸及
 雄ヲ残シ「マニラ」湾沖ニ回航「スビック」湾ヲ基地トシ「マニラ」湾方面作
 戦ヲ直接支援スルト共ニ第十四軍ト作戦ニ関スル打合セラ行ヒタリ
 五月七日「コレヒドル」島要塞陥落シ「マニラ」湾口ノ水路啓開直後
 菲島部隊指揮官ハ会隊大部、艦艇ヲ率テ五月九日「マニラ」
 港ニ入泊セリ

讚岐丸、雄ハセブ島「バネ」島「コタバト」各攻略作戦ニ從事シ
 敵飛行機ノ攻撃及輸送船ノ護衛並ニ海上封鎖ニ任ジタル後
 五月二日「コタバト」發陸軍輸送船ヲ護衛「スビック」湾ニ回航「コレ
 ヒドル」島攻略ニ協力シ五月九日「マニラ」湾ニ入泊セリ

洲ハ封鎖部隊ト密接ナル連絡ヲ保持シ担任区域ニ從ヒ「マニラ」
 湾外ノ哨戒ニ任ジ敵要塞ノ攻撃ヲ行フト共ニ脱出艦船ノ殲
 滅ニ任ジ四月二十三日菲島西部部隊ニ編入セラレタリ

五月十六日主隊（日球磨、讚岐丸）ハ「マニラ」發「ゴン」經由十八日「パ
 ワ」島「ホートプリンセサ」着全地攻略部隊ノ支援ニ任ジ十九日全地

發「クヨ」「ヨロン」經由各地ノ裁定及資源調査ヲ行ヒツツ二十一日
「マニラ」着

尚「地球磨」行動ハ別圖第一第二第三ノ通

(二) 封鎖部隊

「スビック」灣及「ナスブク」灣ヲ基地トシ第三十航空隊ト密接ナル
連絡ヲ保持シ「マニラ」灣ヲ嚴重ニ直接封鎖シ敵艦船ノ拿捕
撃破ニ任ジ「マニラ」灣外担任区域ヲ哨戒セリ

至四月十日ノ間於テ大型帆船二隻又中型帆船一隻又小舟(カヌー)九隻ヲ
捕獲或ハ撃沈(破)シ敵兵約一八〇ヲ捕虜カトセリ

(三) 菲島西部部隊

「リンガエン」灣及「スビック」灣ノ哨戒水路嚮導ヲ「マニラ」灣口ノ封鎖
監視ノ強化竝ニ担任区域ノ海上交通保護ニ任ズルト共ニ「マニラ」灣
口要塞攻略及其直後ノ水路啓開ヲ行ヒ次イデ「マニラ」灣及「ス
ビック」灣海軍根據地ノ防備ニ任ジタリ又一部兵力ヲ以テ五月十八
日「パラワン」島「ポートプリンセサ」ヲ攻略セリ
各部隊ノ經過左ノ通

の第一攻略部隊

コレヒドル島攻略ニ對スル訓練ヲ續行シツキヤビテニ待機シ
「バタソン」半島攻略完了後陸軍ト協同「コレヒドル」島攻略ニ
從事シ上陸掩護隊ハ五月五日六日「コレヒドル」島上陸部隊ノ航
路上水中障害物ノ排除竝ニ水路ノ嚮導ヲ行ヒ上陸ヲ成功セ
シメ陸戰隊ハ五月七日〇四〇陸軍第二次上陸部隊ト共ニ上陸
コレヒドル島海軍施設及據點ヲ占領敵防備施設ヲ調査
セリ

(2) 第一掃海部隊

封鎖部隊ト密接ナル連絡ヲ保持シ「スビック」灣ノ哨戒竝ニ水
路嚮導ニ任ジ「マニラ」灣ノ要塞攻略直後「コレヒドル」島北水
道ノ水路啓開ニ任ジ五月七日「マニラ」灣外ヨリ水道ニ進入掃海
開始第二掃海部隊ト協力シ五月九日〇九五合水道ノ略掃
ヲ終了今日「菲島」部隊艦艇ノ大部ヲ「マニラ」港ニ入泊セシメタリ

(3) 第二掃海部隊

「マニラ」灣ノ警備ヲ行ヒ砲艇隊(三隻)ハ「コレヒドル」島攻略時上

陸作戦ニ協力敵艦艇ノ撃破ニ任ジコレヒトル島攻略直後マニラ湾内ヨリコレヒドル島北水道ノ掃海ニ着手シ第一掃海部隊ト共ニ五月九日暁掃ヲ終了引續キ清掃ヲ行ヒタリ

(4) 西哨戒部隊

リンガエン湾ヲ根據トシ同湾口ニ警戒竝ニ水路嚮導ヲ任ズルト共ニ菲島西部隊担任区域内ノ交通保護ニ任ジタリ

「マニラ」湾口要塞陥落後「リンガエン」湾基地ヲ撤収セリ

(5) 警戒備隊及通信部隊

各担任区域ノ警戒備隊氣象通報及通信連絡ニ夫々任ジタリ

(四) 菲島東部隊

「バオ」警戒備隊及「サンホアンカ」「ホロ」方面ノ警戒備隊殘敵掃蕩竝ニ担任区域内ノ海上交通保護ニ任ジタル外四月十日第二攻略部隊(セブ)港攻略部隊(ハズ岐丸及2機)各飛行機協力ノ下ニ陸軍川口支隊「セブ」島上陸ニ策應セズ港棧橋ニ上陸ヲ敢行同日「セブ」市ノ掃蕩ヲ終リ「マクタン」島要地ヲ確保スルト共ニ飛行場ヲ接收基地ヲ設営セリ

(五)

第一護衛隊

四月二十日第二攻略部隊の編制ヲ解キ今日以降(第土京丸)及陸戦隊一部ヲ以テ陸軍ト協力同全方面ノ警備ニ當レリ
329「セブ」港攻略作戰時一部「セブ」ニ基地ヲ移動同作戰ニ協力スルト共三月中旬敵機ノ菲島方面出現ニ際シテ三空派遣
戰闘機隊ト協力「セブ」ノ對空哨戒ヲシテ「セブ」島敵飛行場
軍事施設ノ搜索偵察攻撃ヲ實施セリ

自四月十日 第二駆逐隊第一小隊
自四月三十日
自五月十日 第八駆逐隊第一小隊

(1) 陸軍川口支隊輸送船七隻又ラ「リンガエン」灣ヨリ護衛シ村雨

(「ネグロス」島南端西方附近ヨリ雉ヲ加フ)ハ其ノ五隻ヲ「アルカオ」

(「セブ」島南部東岸)沖ニ五月雨ハ他ノ二隻又ラ「バリリ」(「セブ」島南

部西岸)沖ニ夫々護送セブ島攻略ニ從事セリ

四月中旬「ロサヤ」方面敵機ノ行動活潑ナリシモ被害ナシ

(2) 四月二十六日「セブ」島攻略終了ノ川口支隊乗船六隻又ラ護衛シ

「セブ」發二十九日「瀧岐丸」雉協力ノ下ニ五月雨ハ其ノ一隻又ラ「コト

バト河口附近ニ村兩ハ他ノ五隻又ヲ「バラング」(「シタナオ」島「コタバト」北「コ運」)ニ嚮道ヲ入泊セシメ「コタバト」攻略作戰ニ從事セリ
 川口支隊「コタバト」上陸成功後右輸送船ノ護衛ヲ瀧岐丸
 雄ニ譲リ第二驅逐隊第二小隊ヲ合同四月三十日附第二驅
 逐隊ハ菲島部隊ノ作戰指揮ヲ解カレタリ
 (3) 五月一日附第八驅逐隊第一小隊ヲ第一護衛隊ニ編入セリ
 (4) 朝潮ハ五月二日「オミンカボ」發陸軍輸送船ヲ「ベルテ」海峡附
 近迄護衛シタル後「ロンスロン」島ノ狀況調査ヲ行ヒタル後又
 芒川潮ハ第一護衛隊ニ編入後何レモ封鎖部隊ニ協力「マミラ」
 灣口ノ封鎖ニ從事セリ

(六) 第二護衛隊

自四月十日 第二十四驅逐隊
 至四月三十日
 自五月十一日 第十五驅逐隊
 至五月二十日
 (1) 陸軍河村支隊輸送船ヲ護衛シ四月十二日「リンカエ」灣發十六
 日海風山嵐ハ其ノ主力ヲ「オト」(「コナイ」島)ニ江風ハ其ノ一部ヲ
 「キヤピス」(「パナイ」島北部)ニ護送シ瀧岐丸雄ノ協力下ニ「パナイ」

島攻略ニ從事シ「イロイロ」港ノ掃蕩並ニ掃海ヲ實施セリ
 (2) 第十五駆逐隊ハ四月十七日附菲島部隊ニ編入
 四月二十八日^{24日}ノ任務引継ヲ了シ五月一日河村支隊輸送船六
 隻又ラ護衛シ「イロイロ」發見三日「カガヤン」着陸軍ハ頑強ナル抵
 抗ヲ排除シ上陸ニ成功セリ
 五月五日人々地發敵潛掃蕩ヲ行ヒツツ「スビック」灣ニ回航九日
 マニラニ入泊十日附菲島部隊ヨリ除カレタリ

0971

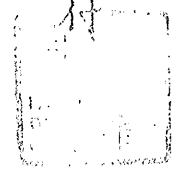
第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

軍機
昭和十七年五月三十一日

海軍功績調査部

一月十一日送付



1811

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年五月一日 第三南遣艦隊戰時日誌 作戰及一般部
至昭和十七年五月三日

一 經過

(1) 一般情勢

五月五日夜半三三三下島敵前上階作邊開始海軍陸戰隊陸軍二協力同六日上陸成功同七日完全占領ス

全比島所在米比軍一部ハ「三島攻略」岸ニ投降ス
ルモ他ハ敗殘兵匪ト化シ依然抗戰ヲ繼續ス

(2) 敵軍之清勢

三島攻略ニ伴ヒ米比軍一部ハ各地ニ投降スルモノ發現
セルモ他ハ敗殘兵匪トシテ各地ニ分散蟄伏シ依然ガリ返的

抗戦ヲ繼續ス

の任務編制配備

の艦隊区分

一日附第三十一駆替隊ヲ當艦隊ヨリ除カレ吳鎮守府部隊

ニ編入六日「マニラ」及「ダバオ」各軍需部内ニ地方運輸部ヲ

置キ十五日附笠置山丸ヲ當艦隊ニ編入三星丸ヲ除カル

而シテ三十一日ニ至リ艦隊ノ一部改編ニ依リ十七號十八號掃

海艇ヲ當艦隊ヨリ除キ第三十一駆替隊第五十三駆替隊解

隊各艇ハ夫々第三十二特別根據地隊及第三十一特別根

拠地隊ニ附屬セシメラル

他ニ第五十六掃州丸第十八長連丸第三十一長連丸(早六

掃海隊ノ解隊セラレタルモノ)ヲ第三十一特別根據地隊

ニ附屬セシメラル

<p>即ち左ノ通トナル(三十一日附艦隊区分)</p>	<p>隊番號</p>	<p>艦船(隊、部隊)番號</p>
<p>隊名</p>	<p>二三一</p>	<p>口球磨</p>
<p></p>	<p>二三二</p>	<p>八重山</p>
<p></p>	<p></p>	<p>一卜警備隊</p>
<p></p>	<p></p>	<p>二第三砲艦隊官南浦丸木曾丸阿蘇丸</p>
<p></p>	<p></p>	<p>三第十八長運丸</p>
<p>第三十一特別根據地</p>	<p>二三三</p>	<p>四第三十一長運丸</p>
<p>隊</p>	<p></p>	<p>五第五十六播州丸</p>
<p></p>	<p></p>	<p>六興嶺丸</p>
<p></p>	<p></p>	<p>七第三京丸</p>
<p></p>	<p></p>	<p>八第三十一航空隊</p>
<p></p>	<p></p>	<p>九第三十一通信隊</p>

二 軍隊區分並ニ主要任務

- 第百三經理部
- 第百三軍醫部
- 第百三工作部
- 第百三建築部
- 第百三病院
- マヤ地方海軍運輸部
- 部
- ダバカ地方海軍運輸部

菲島方面戰況概不順當ニ經過シ七日ニ至リ遂ニ

シキドル島要塞ヲ始シマニラ灣口要塞ハ全ク我が軍ノ占領

スルトコトナレリ然レ共南島諸島ノ殘敵ハ尚抵抗ヲ續ケル

ツアリタルヲ以テ速カニ之等殘敵ヲ掃蕩スベク九日〇〇〇〇發

動左ノ兵力部署ニ依リ作戰ス

三十一駆潜隊ハ一日附クヨリ除カレ吳鎮守府部隊ニ編入セラ

レタルモ特令アル迄現任任務ヲ續行セシメラル

區分	指揮官	兵	力	主	要	任	務
----	-----	---	---	---	---	---	---

1947

菲島 本部隊	菲島 本部隊	主隊
長 令 司	3KF	
32B9 司令官	31B9 司令官	直率
<p>32B9</p> <p>司令官部 警備隊 慶興丸 武昌丸 51号 32号</p>	<p>31B9</p> <p>司令官部 警備隊 315号 31号 八重山 泉 41号 第二第六第七氣象班</p>	球磨 雄 讚岐丸
<p>担任区域办、 一敵掃蕩作戦 二警備 三云要港警備 四海六交通保護 五氣象通報 担任区域六機密菲島部隊命令 作第六號所定ニ合シ</p>	<p>担任区域办、 一敵掃蕩作戦 二警備 三云要港警備 四海六交通保護 五氣象通報 担任区域六機密菲島部隊命令 作第六號所定ニ合シ</p>	全作戦支援

<p>附屬 部隊</p>	<p>補給 部隊</p>	<p>第二 護衛隊</p>	<p>第一 護衛隊</p>	
<p>直率</p>		<p>15dg 司令</p>	<p>8dg 司令</p>	<p>官</p>
<p>日 初丸 第三十六共同丸 第三測量隊 第三車雷部 第三經理部 第三工作部 第三病院 第三建築部</p>	<p>三星丸 朝山丸 子之了丸 笠置丸</p>	<p>15dg</p>	<p>8dg (-2D)</p>	<p>第三第八氣象班</p>
<p>各担任業務及 所命事項</p>		<p>補給</p>	<p>全右</p>	<p>一輸送船団護衛 二陸作戰協力</p>

<p>菲島 西部隊</p>	<p>主隊</p>	<p>區分</p>	<p>爾後十日附ヲ以テ 3109 809 1509 (-2D) 粟雄ヲ 菲島部隊ヨリ除キ夫々 原 ニ復岐セシメナリ 而シテ南方諸島、懸定概ニ終了シ艦隊區分、一部改編係 三十日ヨリ左ノ兵力部署ニ改メナリ</p>
<p>3KF</p>	<p>直率</p>	<p>指揮官</p>	
<p>3189 司令官</p>	<p>球磨、 讚岐丸</p>	<p>兵 力</p>	
<p>3189 司令官部 敬言備隊 司令官部 第一長運丸 第三京丸 第十六長運丸 第五播州丸 八重山第三特設回航班 第 二六七氣象班</p>	<p>全作戦支援</p>	<p>主要任務</p>	
<p>担任区域收、 一敵掃蕩作戦 ニ警備 三主要港灣、防備 四海上交通保護 五氣象通報 担任区域ハ機密菲島部隊 命令作第六號(三月十日)所 定ニ合シ</p>			

菲島
東部隊

補給
部隊

司令官

32 By
司令官

32 By

司令官部
警備隊
慶興丸
武昌丸
警備隊
第十三京丸
第十三京丸

第三八氣象班

朝山丸
笠置山丸

日動丸
第三測量隊
第三軍需部
第三經理部

担任區域外

一敵掃蕩作戰

二警備

三三西要港灣、警備

四海上交通保護

五氣象通報

担任區域、機密菲島

部隊命令作第六號

(三月十日) 所定二令

補給

各担任業務及

耐屬部隊

百三工部部
百三病院
百三建築部
マニラ地方運輸部
バオ地方運輸部

所命事項

二 作戰指導

五月四日「コ」島敵前上陸作戰開始 艦隊主力及菲島西部
隊、全力ヲ以テ攻撃同七日敵將「ソ」ニ降伏ス
艦隊ハ直ニ「マ」湾口水路啓開作戰ヲ開始同九日午前
一部水路啓開完了同日午前主力ヲ以テ「マ」湾ニ進
入セリ
「コ」島攻略作戰完了スルヤ直ニ「比」島各地對定作戰ニ移

行 九 三 〇 〇 〇 〇 之 ヲ 開 始 ス

飛行機

四月下旬、バテ島攻略作戦に引續き敵及補給基地覆
滅の企圖し五月一日「ミシゲ」北西部「カシヤ」に陸作戦ヲ開始シ
同三日之ヲ攻略ス同十六日「バラ」に島「ポートプリ」也洲攻略作戦
ヲ實施シ同十八日攻略ヲ了ス

(木) 戦備及政策事項

「リ」が「エ」に「湾」補給基地ハ一部ヲ移置シ「ス」に「湾」及「マ」ニ移
駐ス

「エ」ヲ「攻」略ニ伴ヒ「マ」ニ「セ」ブ「ダ」バ「オ」ニ當艦隊主要補給基地ヲ
整備ス

五月六日「マ」ニ「及」グ「バ」オニ夫々海軍地方運輸部ヲ設置セ
ル

1981

敵根拠地覆滅作戦行動に伴い軍政監部、鑛山關係員ヲ
連行各地資源開發作業調査ヲ實施ス

日	月	所	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一		
日	月	所	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一		

軍機

海軍功績調査部

第三南遣艦隊

自昭和十七年七月一日
至昭和十七年七月一日

一月九日送付

7/10

第三南遣艦隊戰時日誌

第三南遣艦隊司令部

19.1.01

6677

目次

一 經過

二 人員ノ現狀

三 令達報告等

四 參考

(1) 麾下艦船部隊

(2) 戰訓

五 作戰經過概要

(終)

自昭和十七年六月一日第三南遣艦隊戰時日誌 作戰及一般部
至昭和十七年六月三十日

一 經過

(一) 一般情勢

比島内各地對定作戰、進捗に伴、敵敗殘兵

匪漸次蟄伏スルモ掃蕩至難ナリ

海軍兵力ニ依ル離島主要據点逐次覆滅セサレ

敵敗殘兵匪、活動略々屏息ス

(二) 敵軍情勢

敵敗殘兵、各地ニ分散山地ニ遁走ス

(三) 任務編制配備

一 艦隊区分

本期間當初ニ於テ編成ハ前月ト同一ニテ三十日附

(一) 作戰指導

比島以對是定作戰ヲ續行一方海軍補給基地ヲ
「マニラ」「セブ」「タバオ」ニ設定銃意之ヲ復旧整備
スルヲ努ム

六月五日「イロイロ」「セブ」兩地ノ陸上施設使用ニ関
スル海陸軍最高司令部間ノ協定成立ス

次デ同七日「セブ」ニ於ケル海陸軍現地協定成立
ス一方我カ海上交通保護作戰ヲ強化シ輸送ノ方
全ク期スルニ努ム

六月三十日三十三空(水上機隊)解隊ヲ了ス

由戰備及政策事項

特記スベキ事項ナシ

三の九八七六五四三二一 九八七 六 五

六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五

六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五

公

テ

ヒ

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五

オ バ ダ

区

オ

区

哨

口

区

哨

口

区

哨

口

1207

三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	二 三	二 二	二 一	一 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五					
寺 飛				七				が				刀								
一 五	一 四	一 三	一 二	一 一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇					
隆															基					
港																ブ				
が				ホ				ガ				飛				海				一 八 三 〇
区				明				オ				ハ				ダ				一 八 三 〇
区				明				オ				ハ				ダ				一 八 三 〇